

「ひもときカレンダー」の活用の際して

「ひもときカレンダー」では、認知症の症状に悩んだり、どう対処すればいいのか心配になったりしたとき、少しでも不安を減らし、安心な暮らしを続けるためのヒントを紹介しました。

最近ではテレビや雑誌などで認知症が取り上げられることが多くなり、ご本人やご家族がさまざまな情報に接する機会が増えています。むしろ多すぎると言えるかもしれません。「ひもときカレンダー」では、ふだんの生活で感じられることが多い心配や悩みについて、どのようにすればいいかのヒントが紹介され、ご本人とご家族が一緒になって考えることができます。

【ひもときカレンダーの特徴】

しまい込んでしまうことなく、いつでも、目に触れる形で、使うことのできる冊子。

認知症に不安を抱えているご本人と、そのご家族と一緒に、認知症についての理解を深めながら不安を減らすことができる。

【活用にあたってご留意いただきたいこと】

「ひもときカレンダー」を効果的に活用いただくためにも、みなさまにはくれぐれも下記の点にご留意いただきますよう、お願い申し上げます。

認知症の方ご自身が、カレンダーの内容に不安を感じるような場合には、わかりやすく説明していただき、一緒に話をしながら考えるようにしましょう。

不安や混乱を示すような場合には、このカレンダーをそっと外して見守りましょう。

高齢者の自宅にかかっているカレンダーには、介護サービスの利用日や外部者の訪問予定を書き込まれていることも多くあります。これは、悪徳業者等の「訪問しやすい日を見定める情報」として悪用されてしまうこともありますので、カレンダーをかける場所等に注意を払いましょう。

平成 22 年 3 月 30 日

認知症介護研究・研修東京センター
センター長 本間 昭